

第 32 期環境経営レポート

エコアクション21

(2023年10月～2024年9月)



 HI.TECH 株式会社ハイ・テック

作成日：2024年12月20日

承認	調査	作成
		

[目次]



表紙		P1
目次		P2
1. 事業の概要		P3
2. 対象範囲		P3
3. 環境経営方針		P4
4. EA21推進体制		P5
5-①. 環境目標とその実績		P6
5-②. 環境活動計画の取組と評価		P7
6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無		P8
7. 代表者による全体評価と見直しの結果		P8



1.事業概要



(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 ハイ・テック
代表取締役社長 濱野 智一

(2) 所在地

本社第1工場 : 〒373-0015 群馬県太田市東新町660-1
第2工場 : 〒373-0015 群馬県太田市東新町652
第3工場 : 〒373-0015 群馬県太田市東新町795-2

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 小楠 考士
管理事務局 松島 範之
連絡先 TEL 0276-37-7333
FAX 0276-37-7334
管理事務局E-mail matsushima-n@h-t-c.co.jp
会社ホームページ <http://www.h-t-c.co.jp>

(4) 事業内容

半導体装置機器、省力機器、OA機器、流通機器等の精密板金加工

(5) 主な取引先

・河淳(株) ・パナソニック(株) ・(株)リコー ・日本機材(株)
・(株)ハイパーウェブ ・その他

(6) 事業の規模

設立年月日 平成4年 11月 2日
資本金 1,500万円
敷地面積 合計 本社第1工場 第2工場 第3工場
5,585㎡ 1,936㎡ 1,793㎡ 1,856㎡
建物面積 3,082㎡ 1,373㎡ 1,150㎡ 559㎡

2.対象範囲(認証・登録範囲)

・適用事業範囲

全組織 ・ 全活動

・活動レポートの対象期間及び発効日

対象期間 2023年10月1日から2024年9月30日(32期)
発効日 2024年12月20日

環境経営方針

〈環境経営理念〉

株式会社ハイ・テックは環境経営方針を達成するために、適切な組織の構築、人的・物質的な資源を整え、環境負荷の低減を推進します。

金属製品の生産を通じ、お客様の必要とされる製品を提供することで、永続的に社業を発展させ、当社に関係する人々の幸せを生み出すことこそが、環境対策に繋がるものと考え、

全社を挙げて効率のよい生産改善活動を行う事で、環境負荷の低減に向け、継続的な取り組みを行ってまいります。

〈環境保全への行動指針〉

1. 関連する環境法令、条例及び同意するその他の要求事項を遵守する。
2. 省エネルギー : 効率的な使用改善による電気使用量・ガソリン消費量の低減。
3. 省資源 : 分別の徹底による廃棄物排出量削減、資源の有効利用とリサイクルの推進。
4. 節水 : 限りある水資源の使用量削減
5. 化学物質 : 使用量の抑制及び管理。
6. 環境保全活動の目的、目標の定期的な見直しを図る。
7. 環境経営方針は全社員に周知し、関連区と共に深い理解と協力で環境保全活動を推進する。

以上、本方針は一般にも公開できるようにする。

発行日 2011年11月23日
改訂日 2019年10月1日

株式会社 ハイ・テック

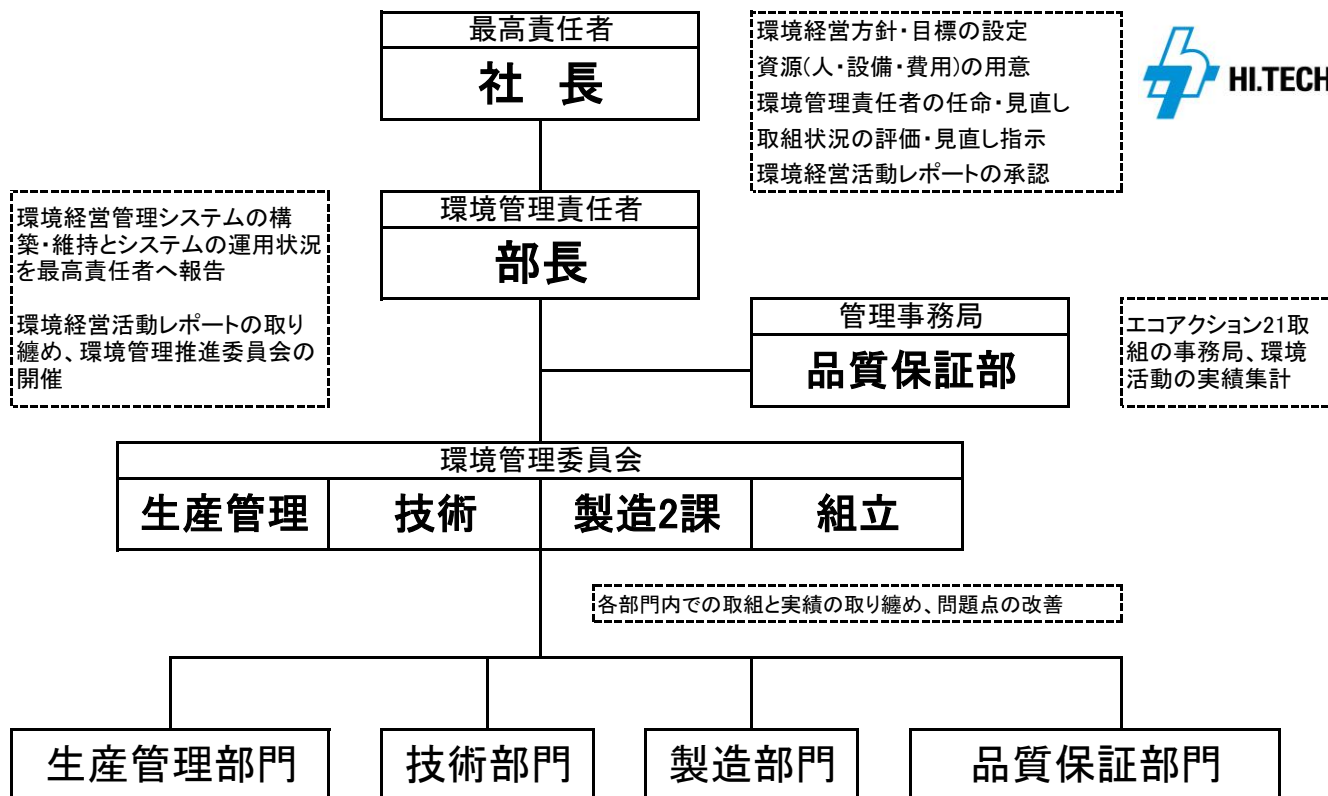
代表取締役

濱野 智



4.エコアクション21推進組織体制図

承認	作成
小楠	松島



	役割・権限・責任
最高責任者(社長)	・環境経営活動に関する統括責任者 ・活動に必要な、人・設備・費用・時間・などを準備 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営管理システムの構築・実施・管理・維持 ・環境経営管理システムの運用状況を最高責任者へ報告 ・環境経営活動レポートの取りまとめ ・環境管理推進委員会の開催及び取りまとめ ・環境活動の現場指示責任者
管理事務局	・環境管理責任者の補佐 ・エコアクション21取り組みの事務局(外部コミュニケーションの窓口) ・環境経営目標、環境経営活動計画の原案作成 ・環境活動の実績集計 ・環境経営活動レポートの作成及び公開
環境管理委員会	・自部門における環境活動の周知、実施 ・自部門内での問題点の発見、改善、予防措置の実施 ・自部門内での取り組みと実績の取りまとめ
全従業員	・環境経営方針への理解と環境活動への取り組みの重要性を自覚する ・決められた事は必ず守り、積極的に環境活動への参加をする

5-①. 環境経営目標とその実績

評価内容	期間(第32期)
評価実施日	2024年 12月20日
報告者	松島
環境管理責任者	小楠

・主要な環境経営目標と環境負荷・実績

No.	環境目標	基準値	目標と実績		中長期目標		環境経営活動計画 実施事項
		31期実績	今期目標値	32期実績	33期目標値	34期目標値	
1	売上100万円当たりの二酸化炭素排出量削減 (kg/百万円) [二酸化炭素 kg-CO2]	352.52 [130350.36kg-CO2]	31期実績に対して 1%削減 348.99 [129046.86kg-CO2]	296.9 [117.55%] 22.47% 増 評価 △	32期実績に対して 1%削減	33期実績に対して 1%削減	①照明・PC電源不要時のOFFの推進 ②PCモニター電源OFFの推進(退社時) ③コンプレッサーの吐出圧力低減 ④エアコン清掃の実施(事務所) ⑤エアコン清掃の実施(工場) ⑥大型設備の稼働率向上(待機時間削減) ⑦エコドライブ推進(勉強会) ⑧社用車の点検・整備 ⑨電力、ガソリン量の集計 ⑩目標達成状況・活動進捗状況確認
2	売上100万円当たりの一般廃棄物の削減 (kg/百万円) [総排出量kg]	3.43 [113.02%] [1270kg]	31期実績に対して 1%削減 3.40 [1257.3kg]	2.23 [152.27%] [1200kg] 5.51% 減 評価 ○	32期実績に対して 1%削減	33期実績に対して 1%削減	①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③新聞紙・包装材の再利用 ④材料包装材の再利用 ⑤廃棄物排出量の集計 ⑥裏紙使用ルールの徹底 ⑦目標達成状況・活動進捗状況確認
3	売上100万円当たり産業廃棄物排出抑制、適正処理 (廃プラ・木くず・ビニール等) [総排出量kg]	2.46 [6.03%] [910kg]	定性的目標 2.45 31期実績に対し 0.5%削減 [910kg]	5.8 [42.20%] [3120kg] 242.86% 増 評価 ×	32期実績に対して 0.5%削減	33期実績に対して 0.5%削減	①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③廃棄物排出量の集計 ④目標達成状況・活動進捗状況確認
	産業廃棄物(金属)のリサイクル、適正処理 *売上100万円当たりの金属廃棄量の削減 (歩留まりの向上) [総排出量kg]	80.54 [29780kg]	定性的目標 80.13 31期実績に対し 0.5%削減 [29631.1kg]	80.79 [99.2%] [434400kg] 45.87% 増 評価 ×	32期実績に対して 0.5%削減	33期実績に対して 0.5%削減	①分別ルールの徹底 ②スクラップ置場の整備 ③購入月と生産月差異の管理 ④PG加工許可歩留まり率設定。 ⑤スクラップ等排出量の集計 ⑥目標達成状況・活動進捗状況確認
4	一人当たり水資源投入量の削減 [総排水量m]	9.57 [409m]	30期実績に対して 0.5%減 9.04 [406.96m]	9.09 [99.45%] [403m] 1.47% 減 評価 △	32期実績に対して 0.5%削減	33期実績に対して 0.5%削減	①毎月のメーター確認 ②全蛇口節水表示 ③出退時での元栓開閉 ④目標達成状況・活動進捗状況確認
5	化学物質使用量の抑制 及び管理		→	→	継続実施	継続実施	①取扱商品の把握 ②購入量の把握 ③MSDSの入手
6	本業に関する目標	36.5	31期実績対比一人 当たり加工高の 向上39.7%(51万)	52.5 [102.94%] 43.84% 増 評価 ○	達成率100%	達成率100%	①生産効率向上 ②不良削減
		0.101	前期損失金額実 績の24.75%減 (割付目標の達)	0.035 [217.14%] 65.35% 減 評価 ○	達成率100%	達成率100%	

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、2017年度実績・平成29年12月21日公表を使用しております。

※東京電力エナジーパートナー(株)0.474Kg-CO₂/kWh ・ 北海道電力(株)0.640Kg-CO₂/kWh ・ (株)ウエスト電力0.539Kg-CO₂/kWh

※デジタルグリッド(株)0.512Kg-CO₂/kWh (代替値・・・係数が公表されていない場合に使用する係数を使用)～2024/01迄

※北陸電力(株)0.489Kg-CO₂/kWh 2024/02～

5-② 環境経営活動計画の取組と評価

評価内容	期間(第32期)
評価実施日	2024年12月20日
報告者	松島
環境管理責任者	小楠

※32期(2023年10月～2024年9月)1年間の活動の取組と評価をしております。

No.	環境経営活動計画	実施事項	取組の評価	次年度への取組内容
1.	売上100万円当り 二酸化炭素排出量 の削減	①. 照明・PC電源不要時のOFFの推進 ②. PCモニター電源OFFの推進(退社時) ③. コンプレッサの吐出圧力低減 ④. 空調温度の適正化 ⑤. エアコン清掃の実施(事務所・工場) ⑥. ロボット溶接機の稼働率向上 ⑦. 設備毎の使用電力把握 ⑧. エコドライブ推進(勉強会) ⑨. 社用車の点検・整備 ⑩. 電力、ガソリン量の集計 ⑪. 目標達成状況・活動進捗状況確認	基準値に比較し、22.47%増、 但し100万円当りでは15.78%減 達成率117.54% 目標達成 ①. 受注増(前年対比47.20%増) 河淳(株)(20.7%増) 日本機材(株)(11.74%増) その他(13%増)	①. 主要活動は継続実施。 ②. ソーラーパネル設置(自然エネルギーの活用)
2.	売上100万円当り 一般廃棄物の削減	①. 分別ルールの徹底 ②. 廃棄物置場の整備 ③. 新聞紙・包装材の再利用 ④. 材料包装材の再利用 ⑤. 廃棄物排出量の集計 ⑥. 裏紙使用ルールの徹底 ⑦. 目標達成状況・活動進捗状況確認	基準値に対して、5.51%減、 100万円当りでは34.99%減 達成率152.47% 目標達成。 ①. 包装紙、新聞紙を緩衝材として再利用。 ②. 時間外の発生が少ない事から、持込 ごみが減少。	①. 主要活動は継続実施。
3.	売上100万円当り 産業廃棄物排出抑制、 適正処理	1). 産業廃棄物排出抑制、適正処理 (廃プラ・木くず・ビニール等) ①. 分別ルールの徹底 ②. 廃棄物置場の整備 ③. 廃棄物排出量の集計 ④. 目標達成状況・活動進捗状況確認 2). 産業廃棄物(金属)のリサイクル、適正処理 ①. 分別ルールの徹底 ②. スクラップ置場の整備 ③. 購入月と生産月差異の管理 ④. PG加工許可歩留率設定 ⑤. スクラップ等排出量の集計 ⑥. 目標達成状況・活動進捗状況確認	基準値に対して、242.86%増、 100万円当りでは135.77%増 達成率42.20% 目標未達。 ①. 前期に見送った木くずの廃棄を、今期 実施。2期分を併せた事で大幅に未達 となった。 ②. 32期後半より、年間計画に廃棄日を 設定し運用する事にした。 基準年度に対して、45.87%増、 100万円当りでは0.82%増 達成率99.18% 目標未達。 ①. 受注増(外部要因)による影響。 ②. 長期保管品(不動・預かり品)の廃棄を 実施。未達要因の一つとなった。	①. 主要活動は継続実施。 ①. 主要活動は継続実施。
4.	一人当たり水資源 投入量の削減	①. 毎月のメータを確認する(漏水防止) ②. 全蛇口節水表示 ③. 出退時での元栓開閉 ④. 目標達成状況・活動進捗状況確認	基準値に対して、1.47%減、 一人当りでは4.92%減 達成率99.45% 目標未達。 ①. 人員変動(上期平均40.2名 下期平均44.3名 +4.1名) ②. 一人当り0.47㎡減となった。	①. 主要活動は継続実施。 ②. 日々、元栓の“開閉”継続実施。
5.	化学物質使用量の 抑制及び管理	①. 取扱商品の把握 ②. 購入量の把握 ③. MSDSの入手	①. 購入品の化学物質の把握にMSDS等 のデータシートを入手、確認実施。 ②. 社内で取扱う化学物質の中に「トルエ ン」があり、数量の記録保管実施。 ③. 有機溶剤漏洩への訓練	①. 主要活動は継続実施。
6.	本業に関する目標	1). 一人当たり加工高の向上 (通年目標51万円/月間) ①. 生産効率向上 ②. 不良削減 2). 前期損失金額実績の20%減 (割付目標の達成) ①. 不良削減	基準年度に対して、43.84%増 達成率102.94% 目標達成 ①. 主な要因としては、環境変化(受注増) により待機時間が減少。 ②. 工程不良が減り、修正・再加工に掛る 工数が減少。 基準年度に対して、65.35%減、 達成率217.14% 目標達成 ①. 多数個不具合の発生と後工程への流 出が減少。	①. 作業習熟度の向上(スピードアップ) ①. 主要活動は継続。 ②. 作業時での遵守ルールの徹底指導 ③. 作業習熟度の向上(スピードアップ) ④. 嵌合検査、3点照合による異品・欠品の防止

6. 環境関連法規等の遵守状況及び、違反訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。



法規制等名称	義務事項または主な内容	適 否
NOx・PM規制法	NOx・PMの排出抑制の為に必要な処置をとる事	適合
浄化槽法	浄化槽の設置・保守点検・清掃及び製造についての規制	適合
騒音規制法	工場及び事業場における事業活動に伴って発生する騒音に対して規制	適合
振動規制法	工場及び事業場における事業活動に伴って発生する振動に対して規制	適合
PRTR法	指定化学物質の排出量及び移動量の把握・届出	適合
廃棄物処理法	処理業者との委託契約の締結 マニフェストの保管	適合
消防法	少量危険物の取り扱い。消防設備の点検、緊急事態訓練とその記録	適合
フロン排出抑制法 (H25年改正法)	簡易・定期点検の実施と記録保管、フロン充填・回収証明書の保管	適合
群馬県の生活環境を保全する条例	従業員数21名以上で特定施設を有する場合、公害防止責任者の選任	適合

- ①遵守状況評価の結果、環境関連法規制の違反、訴訟等はありませんでした。
- ②過去3年間に於いて、関係当局からの違反等の指摘はありませんでした。
- ③近隣地域の方からの苦情・指摘はありませんでした。
- ④各規制の届出書や受理書は別途ファイルにて保管。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

環境経営目標として掲げた6項目の達成に活動を行い、僅差で達成できなかった項目もあるが、前期との環境変化の違いを踏まえ考察すると取組の成果による事と感じている。

今後を推測すると、取引先からも環境に負荷を与えないモノづくり、クリーンエネルギー等を活用したカーボンニュートラルへの取組みが要求される事になってくだろうと感じており、現在、取組んでいる項目を含め、排出量の多い項目に対しては優先順位を考え取組んでいく事も必要と思っている。

